

WEラブ赤ちゃんプロジェクト アンケート集計結果



アンケート概要

■趣旨／目的

これまでの取り組み手法による効果を検証し、今後の事業推進上、有益な意見を聴取する。

■調査期間

令和3年7月1日～8月31日及び10月18日～11月18日 計3か月

■調査対象、実施方法

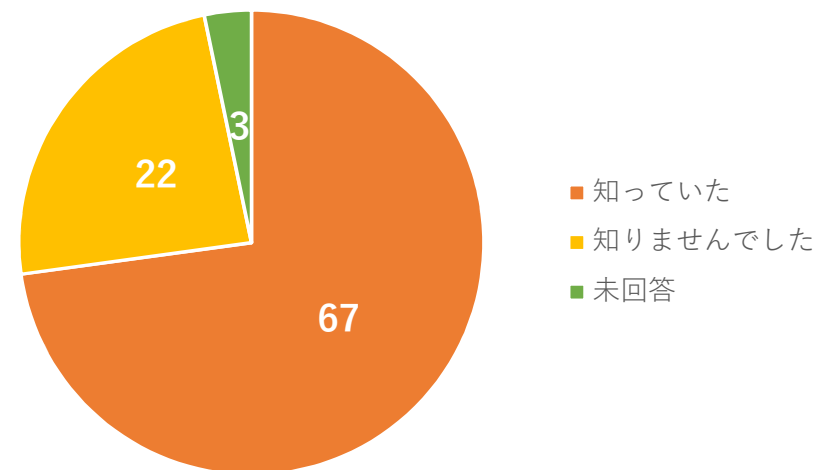
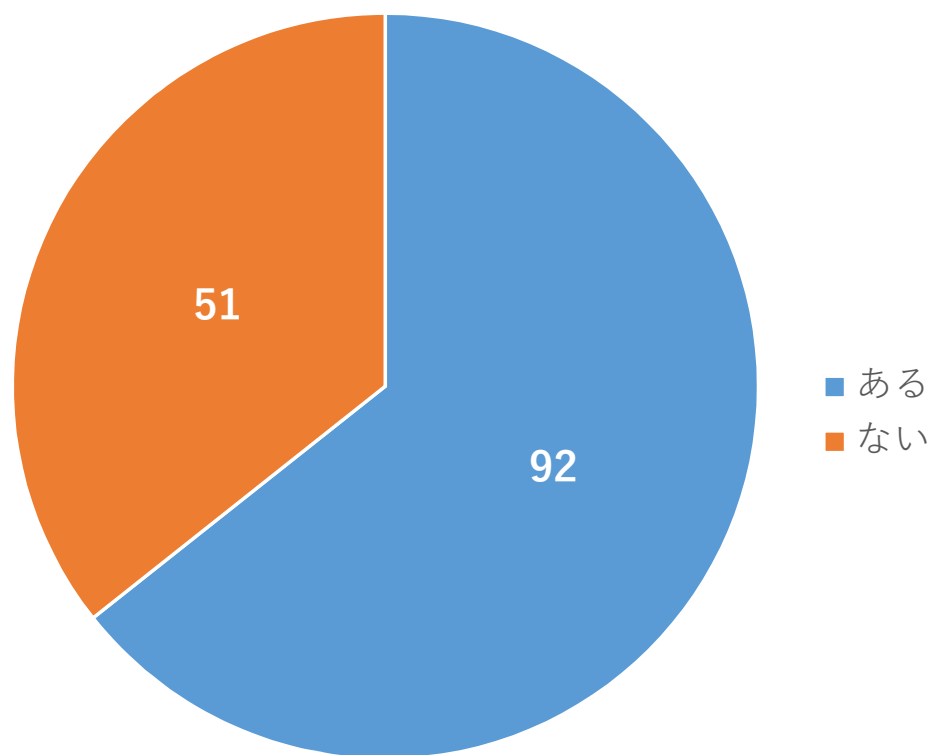
厚別区保健センター、保育所（ちあふる・あつべつ）通園児の保護者、ちあふる・あつべつ及び児童会館（区内8カ所）の子育てサロンを利用する保護者等に調査協力を依頼し、その場で記入・回収。

■集計結果

回収数 143件

問1 あなたはWEラブ赤ちゃんプロジェクトのポスターや缶バッジを見たことはありますか。

「見たことがある」は全体の約6割、「見たことがない」が全体の約4割と、見たことがある方が回答の半数以上を占めた。

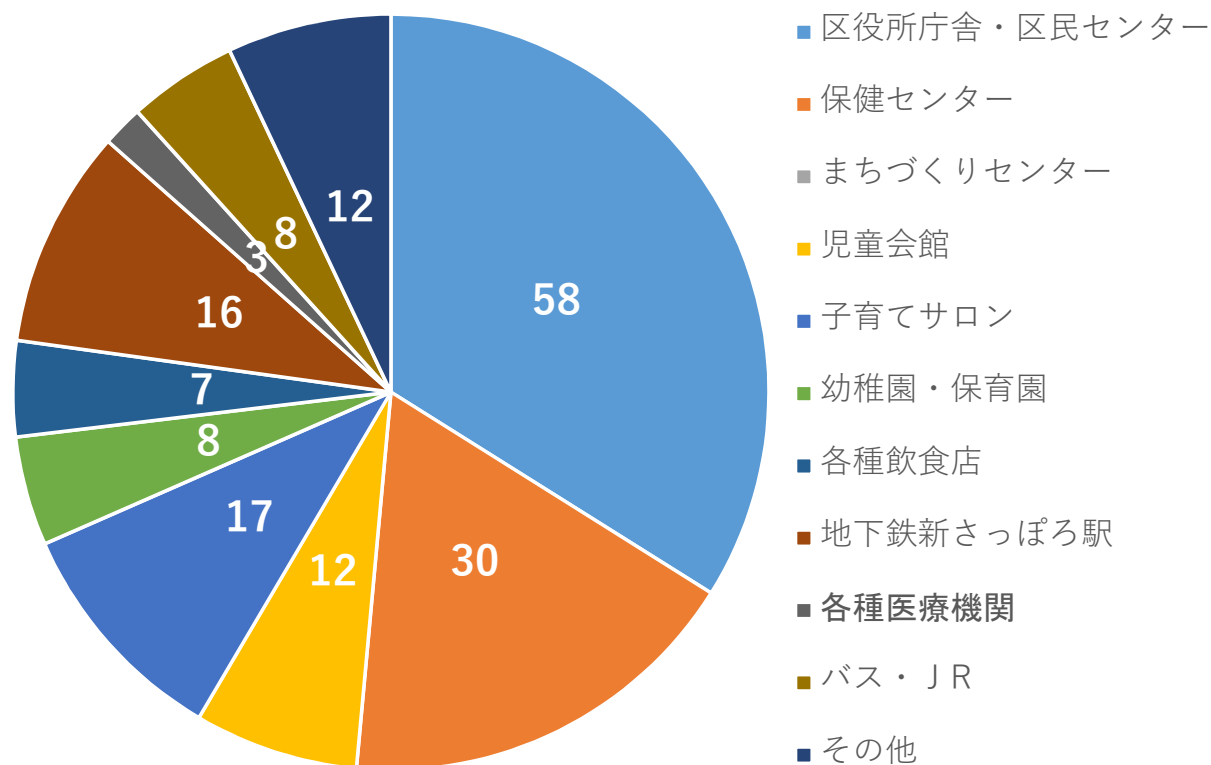


「見たことがある（92件）」と回答した方のうち、約7割の方がプロジェクトの内容を知っていたと回答。

問2-1 あなたがポスターや缶バッジを見たのはどこの施設ですか。※複数回答可

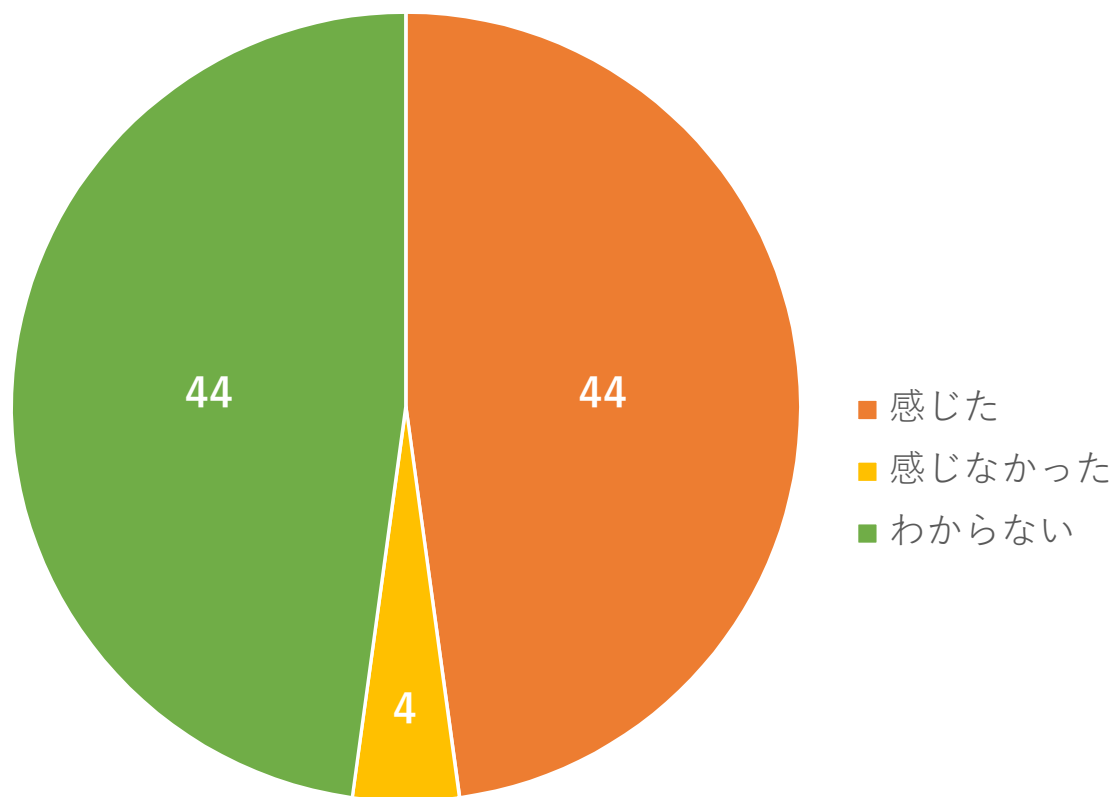
「区役所庁舎・区民センター」「保健センター」と公的機関が88件と最も多く、子育てサロン17件、地下鉄16件、児童会館12件等といった結果であった。

「その他」は商業施設など12件。



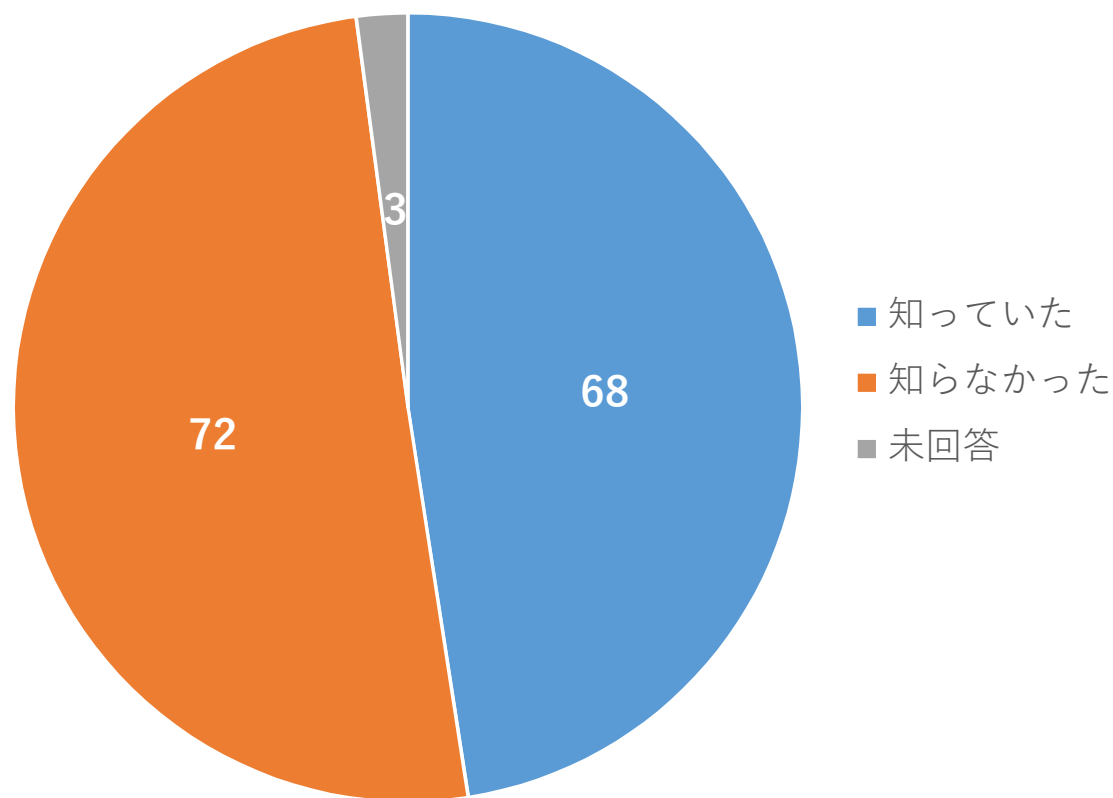
問2-2 あなたは問2-1で選択した施設などで赤ちゃんが泣いたときに、周りの人が温かく見守ってくれていると感じましたか。

温かく見守ってくれていると「感じた」および「わからない」と回答した方は、それぞれ約5割程度と同数であった。



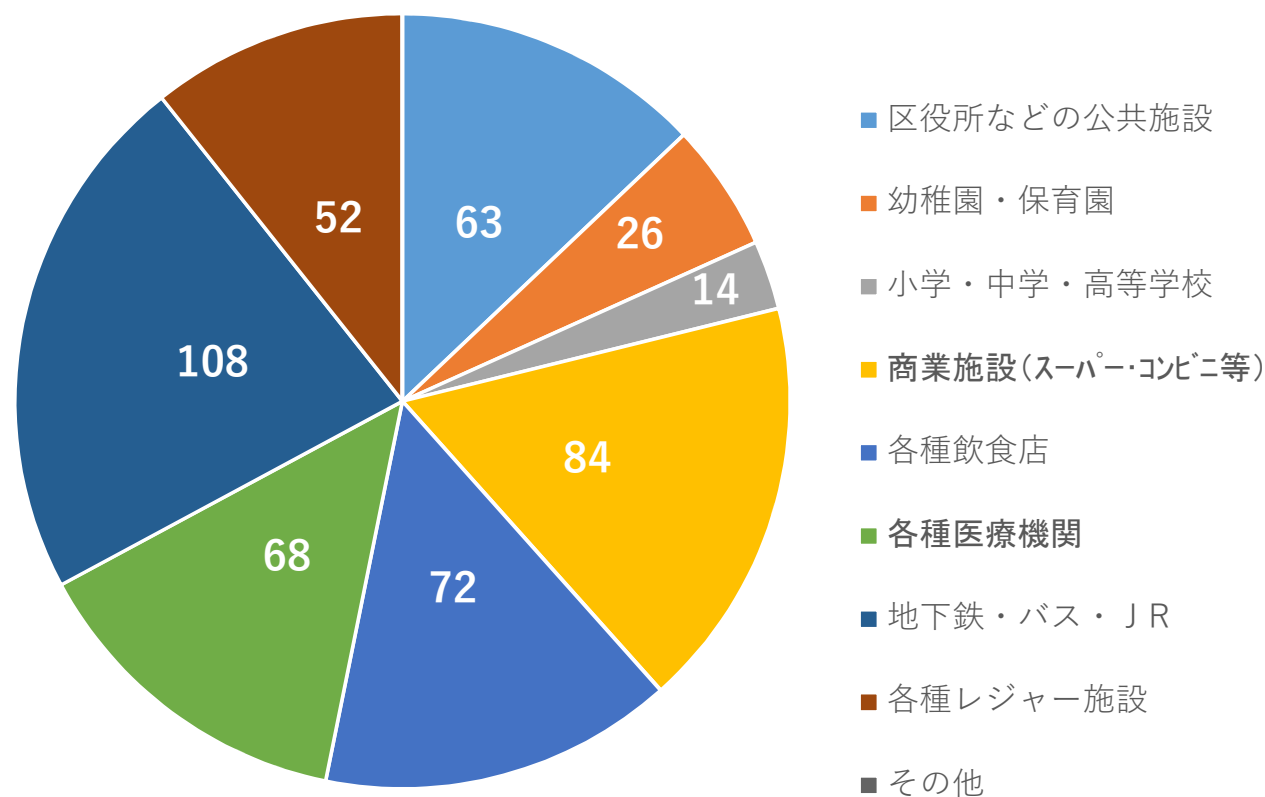
問3 あなたは「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」を知っていましたか。

プロジェクトを「知っていた」および「知らなかった」方はほぼ同数であった。



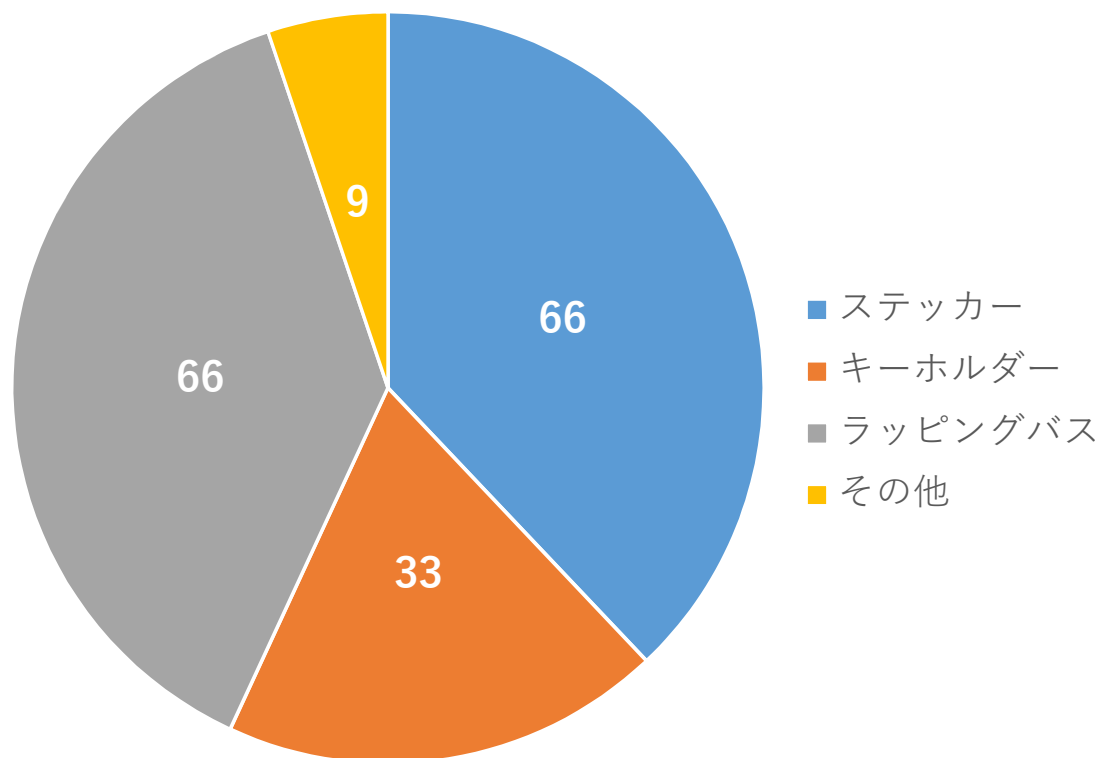
問4 あなたはどんな施設にポスターが貼られていたらよいと思いますか。※複数回答可

「地下鉄等の交通機関」が全体の約2割と最も多く、以下「商業施設」、「飲食店」、「医療機関」、「公共施設」、「レジャー施設」、「幼稚園等」、「小中高」の順。



問5 あなたはどのような媒体で普及啓発をするとより効果的に感じますか。※複数回答可

「ステッカー」と「ラッピングバス」がそれぞれ約4割、「キーホルダー」が約2割。
「その他」は、コマーシャルや情報番組、SNS、車内放送、特大ポスターなど。

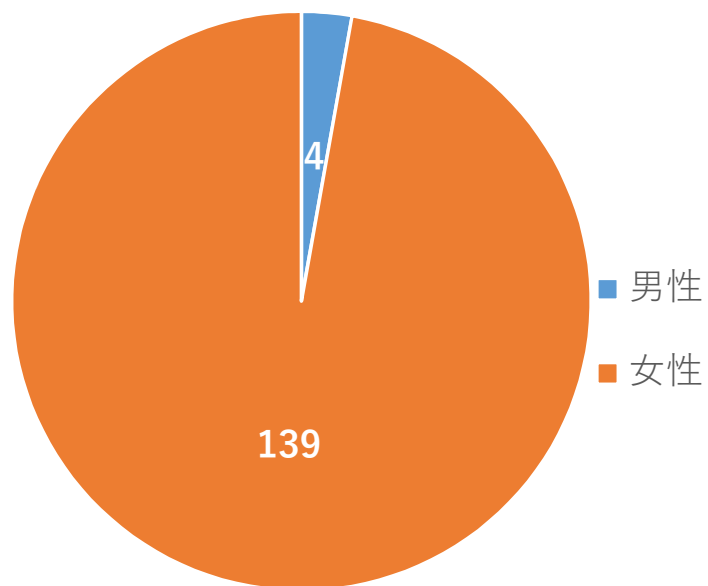


問6 厚別区が「子育てにやさしいまち」になるためのアイデアを教えてください。 ※主な自由記載

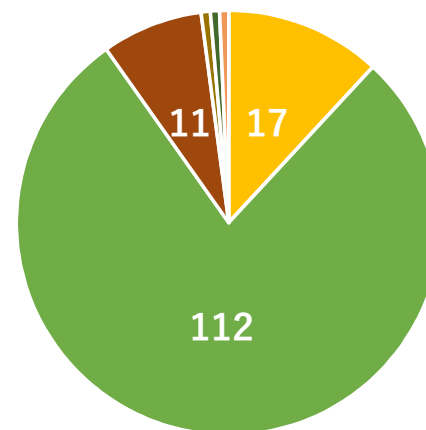
- もっとみんなの目に付くよう、広く普及させてほしい。（バッチやステッカーの一般配布、レジ付近や公共交通機関内へのポスター掲示など）
- 商業施設等に、授乳室やおむつ替えスペース（男性用トイレにも）、乳幼児用の休憩スペースや子どもの一時預かり等が増えていくとうれしい。
- 子どもが一緒でも行きやすいカフェやレストランが増えてほしい。
- 地域の交流の場を増やし、地域みんなで子どもを見守る仕組みができるとよい。
- 子育てサロンの開催頻度を増やしてほしい。（午後も開催する等）
- 小さい子が遊べる場を増やしてほしい。（公園遊具の充実、室内施設の増加等）
- 地下鉄の女性専用車両のように、乳幼児専用車両があると気軽に外出出来てうれしい。
- 駅や商業施設等に、自動ドアやスロープ、エレベーターが増えていくと助かります。

回答者情報

性別

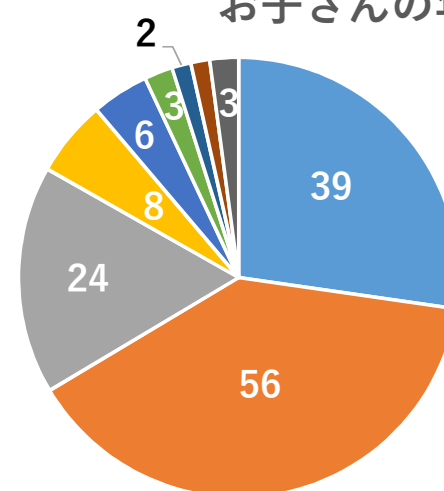


年齢



- 16歳～19歳
- 20歳～29歳
- 30歳～39歳
- 40歳～49歳
- 50歳～59歳
- 60歳以上
- 未回答

お子さんの年齢



- 0歳
- 1歳
- 2歳
- 3歳
- 4歳
- 5歳
- 6歳
- 7歳以上
- 未回答